

平成25年度（第2回）神奈川県独立行政法人高齢・障害・求職者
雇用支援機構運営協議会開催概要

神奈川職業訓練支援センター
港湾職業能力開発短期大学校横浜校

1 開催日時 平成26年2月26日（水） 13：30～15：30

2 開催場所 神奈川職業訓練支援センター会議室

3 協議内容

- (1) 平成25年度事業実施状況について
 - ① 神奈川職業訓練支援センター（ポリテクセンター関東）
 - ② 港湾職業能力開発短期大学校横浜校
- (2) 平成25年度訓練計画専門部会について
- (3) 平成25年度港湾職業能力開発短期大学校横浜校部会について
- (4) その他

4 議事経過

資料に沿って事務局から説明後、意見交換が行われた。各委員からの主な意見等は以下のとおり。

- ・ 全体的に雇用状況も改善しているので、就職等も良くなるだろうと思われる。その中で、職業能力の問題と云うよりは、メンタル的な障害を持っていて就職が困難な方もいる。社会全体の中で助け合って行けるような仕組み（ソーシャル・インクルージョン）を創っていく必要がある。
- ・ 元々はポリテクセンターでは幅広く職業訓練を実施していたが、少しずつ廃止され今ではものづくり分野に特化した職業訓練のみ実施となっている。ポリテクセンターでももう少し幅広い分野で職業訓練を実施できないのかと思う。そうしないと日本経済全体にとってもあまりプラスとならない気がする。
- ・ 機構及び県は訓練を実施する中で色々な情報を持っていると思われるので、お互いの情報を共有し訓練を実施していただきたい。むしろノウハウ基盤としては全国展開している機構の方が多く持っていると思うので、機構はコンテンツ・マスター的な役割を果たして他の訓練施設の向上にも取り組んでもらいたい。
- ・ 太陽光発電や省エネ関連の訓練コースの開発は、神奈川県が進めている計画とも合致している。小規模の企業では自社内でこのような訓練を行うことができない。平成26年度計画においても、このような部分を強化していただいているので、引

き続き小規模企業の訓練ニーズに合った事業展開や在職者訓練をお願いしたい。

- ・ 就職したときの心構え、メンタルヘルスやパワハラ等への対処方法等訓練の一環として指導していただくといいと思う。
- ・ 訓練生と就職先のマッチングについて努力して頂いているが、是非継続して頂きたい。
- ・ ポリテクセンターと情報交換を行い、県が行う訓練のPDCAサイクルについて参考にさせていただきたい。

○神奈川県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会 委員

三井 逸友（会長）	（嘉悦大学大学院教授）
小林 照夫	（関東学院大学名誉教授）
森 健三	（日産テクニカルカレッジ校長）
並木 裕之	（神奈川新聞社取締役経営管理局长）
佐藤 進	（連合神奈川副事務局长）
谷津 正信	（U A ゼンセン神奈川県支部長）
石部 裕通	（神奈川県経営者協会専務理事）
嶋田 幸雄	（神奈川県中小企業団体中央会専務理事）
塚原 良一	（神奈川県商工会議所連合会専務理事）
三瓶 正義	（神奈川県商工会連合会専務理事）
澤口 浩司	（神奈川県労働局職業安定部長）
白髭 かすみ	（神奈川県労働局雇用均等室長）
人見 奈緒美	（神奈川県産業労働局労働部産業人材課長）